

EKIDEN



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2024 EKIDEN



帝京大学駅伝競走部

挑戦と 失敗を、 奨励する

失敗を恐れることなく、挑戦しよう。
失敗は、そこで諦めるから“失敗”なのだ。
諦めない限り、失敗で終わることはない。

最後まで諦めることなく、挑戦を続けよう。
それがいつの日か、成功につながるのだから——。

TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2024

EKIDEN



逆境をはねのけた選手たち

昨季は「世界一諦めの悪いチーム」の本領が発揮されたシーズンだった。大学三大駅伝（出雲駅伝、全日本大学駅伝、箱根駅伝）の出場権をひとつも確保できていない状態から始動し、幾度の試練を乗り越え、箱根駅伝で総合9位に。目標としていたシード権奪還に成功した。

「昨季は、これまで当たり前のように確保していた、全日本、箱根のシード権を失った状態で迎えました。それなのに、果たして『駅伝競走部』を名乗ってもいいのか。当然、私も選手も不

安でしたが、この状況に追い込まれたことで、危機感が芽生えました」

中野孝行監督はこう振り返る。逆境からのスタートに選手たちは危機感を持って取り組み、ひとつずつ着実に課題をクリアしていった。春先から自己ベストをマークする選手が続出。昨年6月に行われた第55回全日本大学駅伝の選考会では6位となり、わずか7枚しかない本選の切符をつかんだ。夏合宿も順調に消化し、中野監督は選手たちの成長に手応えを感じていた。

「夏に得た手応えから、箱根予選会も突破できる自信がありました。今までどの大学もやったことがない、出走する12人全員の集団走に思い切って挑戦してみようと、考えたこともあつたくらいです」

11月上旬に全日本の本選を、1月2日、3日には箱根の本選を控える。後者を意識して走り込んでいたこともあって、箱根予選会ではこのようなレースプランも考えていた。しかし、箱根予選会の約3週間前になって、チーム内に新型コロナウイルスの感染者が続出するピンチに見舞われる。この事態に選手、スタッフが一丸となって総力戦で臨み、なんとか乗り切った。

「こんな事態に直面しても大崩れしなかったのは、長い年月をか



けて作り上げたチームだから。よくやってくれたと思います。また、箱根予選会を3位で通過したことで、選手たちの強さを再認識できました」

昨年の箱根予選会を通過したことで、帝京大学は17年連続の本選出場となった。この連続出場記録は、第100回大会に出場した23校のうち、5番目の長さだ。

そして、中野監督は1万mの上位10人、エントリーメンバー16人の平均タイムが帝京大学史上最速のチームを作り上げ、箱根駅伝に臨んだ。往路を12位でしのぐと、復路はしぶとくたすきをつないで、総合9位でフィニッシュ。前年に逃したシード権をわずか1年で取り戻し、18年連続の『継走』を決めた。なお、予選会出場校でシード権を獲得できたのは、帝京大学を含め2校に過ぎない。それほど狭き門なのだ。

決して順風満帆なシーズンではなかったが、選手たちは一回りも二回りも大きな成長を見せた。

指導歴30年も『道半ば』

中野監督は昨年8月に還暦を迎えた。指導歴はまもなく30年になり、円熟期を迎えつつあるが、自身のことを「まだまだ青い」と評している。

「もう何年も前のことですが、当時70歳を過ぎていた故・小出義雄さんが『中野君、僕はいまだに勉強しているよ』というんです。バルセロナ五輪銀・アトランタ五輪銅メダリストの有森裕子さん、シドニー五輪金メダリストの高橋尚子さんら、多くの名選手を育成してきた小出さんがそうなんですから、私なんか道半ばだし、今も分からないことがたくさんあります。でも、それは逆に幸せなことなのかもしれない。『分からないことがある』というのは、まだまだ『伸びしろがある』ということですから」

そういう中野監督は、臨機応変に指導にあたることを心掛けてきた。例えば、過去に好成績を挙げた選手の練習メニューやスケジュールを参考にすることはあっても、そのまま同じことを今の選手に課すことはない。選手の特徴や気象などの外的条件に合わせて、細かく調整しているのだ。

「帝京大学は叩き上げのチームといわれることが多いですが、10年前と比べると練習量は減っています。年々、暑くなってきたりすることもある、今は余裕を持たせてやってほしいと思っています」

しかし、それは効率を重視しているわけではない。

「効率だけを追い求めると、イレギュラーが起きたときに対応できなくなってしまう。それに、効率を重視するなら私が細かく指示をすればいいのですが、実際にレースで走るのは選手たちです。懇切丁寧に接して理解を促すことも必要ですが、私は選手の自主性も、それと同じくらい重要だと思っています」

中野は選手の自主性を何よりも重んじる監督だ。それはチームにも浸透している。例えば、主将の山中博生（四年）は勝負強さを身に付けるため、普段の練習でも勝負を意識したり、中野監督が指示する練習に加え、自ら考える追加メニューを課している。こうして、選手は自ら考える力を培っている。

「人生はうまくいかないことがほとんど。自ら考え、取り組んだ結果、たとえ失敗してしまっても、そこから学べることは大きく、次に生かせばいい。失敗をそのままにしておくことは、絶対にいけません。また、競技においても、それ以外でも、帝京大学在学中にピークを迎える必要はありません。駅伝競走部で過ごす4年間をステップにして、社会に出て活躍してほしいです」

学生に無限大の可能性を感じているからこそ、そんな思いをもって指導にあたっている。

INTERVIEW

帝京大学駅伝競走部 監督

中野 孝行

失敗に学び、成長する

「世界一、諦めの悪いチーム」を標榜。発展途上の選手を育て上げ、チームを17年連続で箱根駅伝に導いた。帝京大学の監督就任20年目を迎えた今季、中野孝行監督に指導にかける思いを聞いた。

Profile

なかの たかゆき

1963年生まれ。北海道出身。帝京大学スポーツ医科学センター准教授。国士舘大学で箱根駅伝に4年連続出場。卒業後は雪印乳業に入社して、選手として活躍。引退後に三田工業女子陸上競技部コーチ、特別支援学校の教員、NEC陸上競技部のコーチを務める。2005年に帝京大学駅伝競走部の監督に就任、現在に至る。著書に『自分流 駅伝・帝京大の育威力』（ベースボール・マガジン社）。



中野孝行監督の著書

『自分流 駅伝・帝京大の育威力』

高校時代に目立った実績を残していない選手を、帝京大学の4年間で育て上げる「育成の帝京」の指導方法を紹介。中野監督流の選手とのコミュニケーション術や箱根駅伝における采配など、著者の駅伝にかける思いが詰まった一冊。

ベースボール・マガジン社 1,500円＋税

「今の自分は全く想像できなかった。一年生のときは思うように走れていなかったの、4年間、ただ時間が過ぎるのを待つだけなのかと思っていました」

今季、駅伝競走部の主将を務める山中博生（四年）は、意外な言葉を口にする。

「入学したばかりのころは食事の量も少なく、線が細かった。4年間頑張っ、強くなってくれば良いと思っていました」。中野孝行監督も、当時の山中の印象についてこう話す。

そんな山中も、今やチームのエース。名実ともに大黒柱だ。

「このチームには全員、平等にチャンスがある。その機会が訪れた瞬間を逃さないようにしよう」と意識していました」

二年の夏までは故障続きだったが、その夏を越えて状態が上向き、記録会などで好走を続けた。そして、その年の出雲駅伝、箱根駅伝でレギュラーの座を勝ち取る、箱根駅伝ではチームが苦戦する中、8区6位と指揮官の期待に添えてみせた。まさに自らチャンスをつかみ、成長につなげた格好だ。

そして、昨季はさらなるレベルアップを遂げた1年になった。「思った通りに走れたレースが多かった。中でも、全日本大学駅伝の2区では、駅伝が楽しいとさえ思えました。持ちタイムの

には他大学の選手に劣っていないが、それでも戦うことができ、自信になりました」

全日本大学駅伝の2区で各校のエース格と互角に渡り合い、区間6位と好走。二人を抜いて、チームを勢い付ける役割を果たした。

箱根駅伝でも「花の2区」を担った。しかし、今度は区間16位に終わり、満足のいく走りを見せられなかった。

「全日本から距離が2倍になり、コースもタフで、うまく走れませんでした。まだまだ足りない部分があるのを感じました」

チームは総合9位となり、シード権奪還に成功したものの、山中には悔しさが残った。

「中野監督は『前半から突っ込めるのは分かったから、後半をしつかりどう走るかだ。来年の箱根駅伝につながる』と言ってくださいました。もう1年あることを見越して、2区に挑戦させてくれたのだと思います。そういう意味でも今年は『勝負』の年になる。箱根の2区は経験者の僕が走らないといけない。そこは譲れません」

その悔しさを糧に、また一段高みをめざす山中は、最終学年を迎えてさらに一皮むけた印象を受ける。4月の日体大長距離競技会では、蒸し暑い中、自己ベストに迫る走りを見せ、憧れ

努力の末、二年時の出雲駅伝でレギュラーの座を勝ち取ると、その年の箱根駅伝、三年時の全日本大学駅伝など、大舞台で好走。今季の関東インカレ10000mで帝京大学記録を更新して、快進撃を続ける山中博生（四年）に、主将として迎える最終学年にける思いを聞いた。

INTERVIEW

主将の決意

山中博生

の先輩」中村風馬（駅伝競走部OB、富士通）に先着。さらに、5月の関東インカレ（2部）では1万mで終盤まで日本人選手トップ争いを繰り広げ、惜しくも日本人選手2位だったものの、4位入賞を果たした。自己記録を30秒以上更新する28分04秒54をマークし、星岳（駅伝競走部OB、コニカミノルタ）が持っていた帝京大学記録を大幅に塗り替えた。

「去年の関東インカレはハーフマラソンに出場したものの、転倒して自分の思う走りができなかったの、今年はリベンジしたかった。結果は最低限。中野監督には日本人選手トップを狙えと言われていたので、そこが達成できなかったのは反省点です。ここで満足したら終わりだと思うので、まだまだ上をめざします」

快走したにもかかわらず、山中にこう言わしめるのは、エースとしての自覚なのだろう。山中が意識し、手本にしているのは、昨季の主将・西脇翔太（駅伝競走部OB、J.R東日本）だ。「誰に対してもフレンドリーに接し、みんなから愛されていた西脇さんが率いたチームは、笑顔が絶えませんでした。しかも、自分がやらなければという気持ちで誰よりも強く、そんな西脇さんを間近で見てきたことも

あって、『西脇さんだったらこうしているかな』という風に考えることがあります。プレッシャーはありますが、結果を残して強さを見せ、安定感があるチームを作りたいです」

チーム目標には「大学二大駅伝で過去最高順位（※）をマークすること」を掲げた。

「僕たちの代は、入学したときの四年生が強く接する機会も多かったの、その影響を受けているメンバーが多いです。その先輩方を超えて、さらに強い帝京大学を見せていきたい。そんな思いがあります」

決して簡単なことではないのは重々承知しているが、あえて高い目標を掲げた。その目標を成し遂げるために、普段の練習から「勝負」を意識して取り組んでいる。

「普段の練習から競り合うことが増えてきました。それに、中野監督の出す練習メニューは最低限のもので、それ以上のことをやらないといけないと思っています」

自主性が重んじられているチームだからこそ、強くなるために自らに試練を課す。さっそく関東インカレで山中はその成果を示したが、まだ戦いは始まったばかり。「過去最強の帝京」を示すため、これからも試練を乗り越えていく覚悟だ。

T

※出雲駅伝4位以内、全日本大学駅伝4位以内、箱根駅伝3位以内

主力選手座談会

箱根駅伝のシード権を奪還し、自信を取り戻した。

高い目標を掲げるチームのけん引役として期待される

岩本拓真、高島大空、小林大晟、福田翔(共に四年)が

今季、そして最終学年にかける思いを語った。



左から岩本拓真、高島大空、小林大晟、福田翔(共に四年)

——まずは昨季を振り返ってください。

高島 昨季は箱根駅伝予選会で初めてチームを代表して走り、箱根駅伝本選では当日変更になりましたが、エントリーメンバーには入りました。悔しい思いもありましたが、そこに至るまでの1年間を通して大きく成長できました。何もできなかった1年生のときから、着実にステップアップできていると思います。

岩本 4月上旬に1万mで自己ベストを出して、良い感覚でシーズンインできました。夏合宿では練習を離れたのが1回だけ、手応えもありましたが、駅伝シーズンにはもの足りなかったです。

二年時に続き、(駅伝で)エントリーメンバーに入りましたが、またしても出走できず。悔しい1年でした。

小林 全日本大学駅伝も箱根駅伝も予選からのスタートだったので、自分の記録よりもチームの成績にこだわりたいと思ってスタートしました。関東インカレで入賞(ハーフマラソン8位)、全日本大学駅伝選考会も通過。最後はチーム最大の目標だった箱根駅伝で、シード権を獲得できました。個人としても、今までなかなか結果が出ていなかった中、箱根駅伝で残した9区区間3位という成績は大きな自信になり、良い形で締めくく

ることができました。

福田 主力として自覚を持てた1年でした。その大きな要因が、箱根駅伝予選会と全日本大学駅伝です。この2つの大会で、自分がやってきたことをしっかりと出すことができて、四年生になってからは僕がチームを引っ張っていくという自覚が芽生えました。でも、箱根駅伝は直前で調子を落としてしまい、走ることでできず、自分の弱い部分が出てしまいました。箱根駅伝を1回も走っていないまま、最後の年を迎えたので、今季は何よりも箱根駅伝を重視していきたいと思っています。

——今季のチーム目標は？

岩本 新チームが始動したとき、主将の山中が掲げたチーム目標は「大学三大駅伝で過去最高順位を更新する」というものでした。大きな目標ではありますが、高みをめざすことで、チームも良い方向に向かっていくと思います。

高島 僕もなかなか挑戦的な目標だと思うけど、決して不可能ではない。山中が走力でチームを引っ張っているの、副主将の僕はチームメイトと積極的にコミュニケーションをとって、みんなをうまく巻き込んでいきたい。僕自身が成長することで、チームも成長していけるよう、副主将としての役割を果たして

いきたいです。

福田 今年は「勝負」を意識した年になる。山中がみんなの前でその言葉を口にしたこと、チームにその意識が浸透しました。シード権を取り戻し、箱根で再び戦えるという自信を持った今、チームには勢いがあるし、まとまりが出てきていると感じます。

小林 僕は一年時から駅伝を走ってきましたが、シード権を獲得して次の大会への出場が決まっているときと、昨季のように1つも約束されていない状況とでは大きく違います。やはり、三大駅伝への出場が決まっている状態で始動できるのは、すごく楽に感じます。後輩たちには三大駅伝の出場権をしっかり残してあげたいと思います。

——個人の目標は？

福田 目標が低いと思われるかもしれませんが、箱根駅伝出走です。この3年間、箱根以外の駅伝や予選会には出場することができたのに、いちばん大きな目標である箱根駅伝を走れずにいることが、ずっと心残りでした。具体的な目標は大会が近付いたタイミングで立てたいと思いますが、現段階での目標を1つ挙げるなら、まずは箱根駅伝を必ず走ることです。

岩本 僕も福田と一緒に、箱根駅伝を走るために帝京大学に入っ

たので、ラストイヤーは絶対に出たい。二年時、三年時と届きそうに届かず、昨季はシード権を取り戻しても、素直な気持ちで喜べなかったのが、今季こそ僕も出走して、みんなの輪の中で喜びたいです。

小林 自分のことも大事ですけど、それ以上にチームのことを考えていきたいです。昨季の主将の西脇(翔太)さんが、インタビュー記事で「ここに僕を置いたら大丈夫って監督が思った区間で、自分ができる最高の走りをしたい」と話していました。そのマインドがすごい。僕も監督とチームメイトにそう思ってもらえる区間で、納得のいく走りを見せられるように1年間かけてやっていきたい。それがチーム目標の達成にもつながると思います。

高島 箱根駅伝を走ることはもちろんですけど、僕も小林に似ていて、監督やチームメイトに信頼される選手になりたい。競技だけでなく生活面でも、チームの舵をとる上で、高島がいるなら大丈夫だと思われる選手に成長していきたいです。

——駅伝競走部で過ごした3年間で、成長できたと思うところは？

高島 僕は多様な価値観を認められるようになりました。高校までは地元・千葉の友人との付き合いが中心でしたが、大学は

関西、九州、中国、四国と、さまざまな地域から学生が来います。異なる価値観を持つ人たちと関係を築いていくことで、いろんな人がいることの良さに気づきました。

岩本 僕は高校時代より、チームのために何ができるかを考えられるようになったと思います。なかなか駅伝のエントリーメンバーに加わることができなかったとき、駅伝は出走するメンバーだけでなく、チーム全体で動いたほうが良いと思いました。そして、学年を重ねていくことで、チームのために走りたいという気持ちが強くなりました。

福田 高島が言うように大学にはさまざまな人がいて、常識だと思ふことも人それぞれ。お互いに指摘し合うことで、いろんな角度から自分自身を見つめ直すことができました。それが僕にとっては良かったです。

小林 自分で考え選択し、進んでいく力が身に付きました。中野監督の指導方針で、練習は選手に任される部分が多く、出場する記録会なども自分で決めています。その選択が自分の将来につながっていることを実感しますし、そうして培った力は、競技上はもちろん、それ以外でも役に立つと思います。



CROSS TALK

ROAD TO HAKONE 選手を支える裏方たち

左から井下侃(マネージャー・三年)、柴田健佑(主務・四年)、曾田透真(マネージャー・三年)

——昨季は全日本大学駅伝と箱根駅伝の予選突破とシード権獲得を目標として掲げました。

柴田 しぶとく仕事をしてくれる四年生と、勢いのある下級生とがうまくマッチして、箱根駅伝ではシード権圏内(総合9位)に滑り込めました。

井下 柴田さんが言うように、昨季は確かに四年生の頑張りが大きかったです。月毎に目標を決めて、大会が終わるとちゃんと反省をして、個々がチームと向き合う場面が多かった。それが良かったと思います。

曾田 1年間かけて四年生がチーム作りをして、次のことを見据えて行動してくれました。もちろん、箱根駅伝のシード権を確保したことは非常に大きいですが、四年生が残してくれたものはそれだけではありません。それらをどう活用していくかが、今季は重要になります。引き続き、チーム全員が何かしらの役割を果たしていけたらと思います。

柴田 昨季は、マネージャーが全部やってあげるのではなく、選手には自分でできることは自分でやってもらうというスタンスを取りました。まだまだですが、選手が自分で考えて動くという習慣ができたことは大きかった。特に全日本大学駅伝では、マネージャーがバタバタしてしまっていたのですが、選手たちは落ち着いて

いました。そんなときに、今年のチームは変わった」と実感できました。

——裏方としてやりがいを感じるのとはどんなときですか？

柴田 自分がサポートをしてきた選手が自己ベストをマークしたり、好走したりと、日ごろの成果を試合で発揮できたときです。それだけで、マネージャーをやっているだけで良かったと思えるくらいです。

井下 僕はトレーナーをめざしていて、トレーニングの面でサポートをすることが多いのですが、自分がサポートしている選手が自己ベストを出したときは本当に嬉しい。「いつもありがとう」なんて言われたら、最高ですね。

曾田 ここ最近でいちばん嬉しかったことは、島田(晃希)が学生ハーフで快走(1時間03分00秒の自己ベストでチームトップ)したことで、5kmで13分台の大会を突破したことです。同じ学年の選手の活躍は何よりも嬉しいし、やりがいを感じます。

柴田 僕もそう。やはり入学時から一緒に過ごしてきた同級生の選手たちには、特に強い思いがあるよね。

——帝京大学に入学して、成長を実感したことは？

柴田 言われなくても、この人はこうしてほしいんだらうなと察する力、考える力が身に付いたと

思います。先を読んで行動し、それがバチッとハマったときには、人として成長できたと感じます。

井下 僕は一年時の途中で選手でした。当時は同じ学年の仲間とばかり接していましたが、マネージャーになると他の学年ともかわらないといけません。選手個々で求めるものは全く違いますし、対応も当然異なります。マネージャーとして活動しているうちに、コミュニケーション能力が身に付いたと思います。

曾田 人の気持ちを汲み取ることができるようになり、それに配慮して行動することで、主体性が身に付いたと思います。今季はそんな力を生かして、チームを管理することにも力を注ぎたいです。

——今季のチーム目標は？

柴田 大学三大駅伝で歴代最高順位(※)をマークすることです。昨季はチーム目標を達成できたので、自信を持って臨みたい。僕自身、これまでの3年間で力を抜いていたわけはありませんが、今季は無呼吸でいくぐらいの気持ちで、裏方として自分を追い込んでいきたいと思っています。

井下 僕はけがやトレーニングの知識を生かして、チームの底上げに力を注ぎたいです。

曾田 僕は選手が高いモチベーションを保てるように、コミュニケーションを大事にしていきたいです。

※出雲駅伝4位以内、全日本大学駅伝4位以内、箱根駅伝3位以内



CROSS TALK

NEW FACE 次代を担う選手たち

左から松井一、辻本稔寿、佐藤誠悟(共に一年)

——帝京大学に進学を決めた理由を教えてください。

辻本 僕は5kmのタイムがそんなに速くなかったのので、「それでは箱根駅伝で通用しない」と言われていたのですが、中野監督だけは3km障害のタイムや体格を褒めてくれました。そして、「君はどこまで行きたいんだ?」と聞かれたので「日の丸を背負いたい」と答えたら、「じゃあ、とことん付き合ってやるよ」と言ってくれたんです。中野監督の一言で、「ここしかない」と思い、帝京大学に決めました。

松井 僕も、高校時代に中野監督から「君なら世界に行ける」という熱い言葉をいただいて、中野監督のもとで箱根をめざしたいと思いました。それに、高校の先輩の柴戸(遼太)さんから帝京大学の練習環境や練習内容などを聞いて、こなら自分が成長できると思います。

佐藤 親戚が帝京大学を応援していて、初めてちゃんと箱根駅伝をテレビで見たときに、「良いチーム」という印象を持ちました。(過去最高タイの)4位になった第96回大会でしたが、ロードに強く、駅伝力があるチームだと思いました。当時はサッカーをやっていたのですが、高校で陸上を始めたときから、大学に行くなら帝京大学だと思っていました。

——入学してから駅伝競走部の印象は変わりましたか？

松井 強豪校だから上下関係が厳しいことを想像していたのですが、先輩方は本当に気さくに話しかけてくれますし、自分から話しかけても優しく接してくれます。「良い縦の関係」がこのチームにはあります。

辻本 「良い縦の関係」のおかげで、その分、練習にすべてを注ぐことができます。

佐藤 先輩方はオンとオフの切り替えが上手です。競技に対しては真面目でしっかり取り組んでいます。普段は元気いっぱいですが、楽しい方ばかりです。

——駅伝競走部で活動していく中で、驚いたことはありますか？

松井 食事がめちゃくちゃ美味しいことです。毎食できたてを食べられるし、苦手な食べ物でもここでは美味しいと思えます。もちろん、栄養バランスも良いです。高校時代は貧血に悩んでいたのですが、大学に入ってからはその症状もなく、ずっと上り調子です。

佐藤 毎月インボディで体組成を測定することです。僕ら3人は体脂肪率が高いので、自分の体をしっかりと知ることができるのはすごく良いと思いました。筋肉量も分かるので、自分に足りないところを補うためのトレーニングもできます。

辻本 一番驚いたのはスポーツ医学センターですね。けがをし

そうなきほど慎重になってしまいがちですが、センター内の医学クリニックですぐに診断を受けられるので、安心してガンガン追い込んでいます。

——皆さんはそれぞれ異なる特長を持った選手ですが、在学中の目標は？

松井 僕はロードが得意なので、箱根駅伝をはじめ、大学三大駅伝でエース区間を担って、シード権や総合優勝への流れを作りたいような走りをしたいです。そして、区間賞争いができる選手になって、ロードの強さでチームに貢献していきたいです。

辻本 僕はスピードに特化したタイプなので、3km障害をメインに取り組み、世界選手権に出場したいです。それが中野監督への最大の恩返しだと思うので。駅伝では、スピードを生かせる出雲駅伝2区や箱根駅伝の6区・山下りを走って、チームに貢献したいと思っています。

佐藤 僕は、箱根駅伝の9区が「裏のエース」みたいでカッコいいと思うので、9区で区間賞を狙いたいんです。僕たちはチャレンジャーだと思うので、高校時代の経験(主将として盛岡大学附属高を全国高校駅伝初出場に導いた)を生かして、攻めの走りやチーム作りができればと思います。



KORR 100 東京箱根間往復大学駅伝競走
主催 関東学生陸上競技連盟 共催 読売新聞社 特別後援 日本テレビ放送網 後援 報知新聞社

EKIDEN

TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2024

00回 東京箱根間往復大学駅伝競走 ★SAPORO



鎗田 大輝

YARITA Daiki
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高／千葉県／178cm・59kg
①三大駅伝出走②継続は力なり
③5000m(14:27.73/13分台)
10000m(30:05.34/28分台)



藤本 雄大

FUJIMOTO Yudai
医療技術学部スポーツ医療学科
北海道栄高／北海道／169cm・53kg
①過去最高順位更新に貢献する②思い出なんかいらん
③5000m(14:17.66/13:59)
10000m(29:09.04/28:50)



川上 颯真

KAWAKAMI Soma
医療技術学部スポーツ医療学科
開新高／熊本県／167cm・50kg
①メンバー争いに絡む②世の中には幸も不幸もない。ただ、考え方でどうにでもなるものだ
③5000m(14:37.31/14:15)
10000m(30:06.94/29:30)

3rd
Grade

PLAYERS LIST
2024
EKIDEN

三年生



若林 凌汰

WAKABAYASHI Ryota
経済学部経済学科
花咲徳栄高／埼玉県／172cm・57kg
①箱根駅伝出走②継続は力なり
③5000m(14:53.79/14:30)
10000m(30:58.32/29:30)



細谷 建斗

HOSOYA Kento
医療技術学部スポーツ医療学科
東海大山形高／山形県／167cm・51kg
①箱根駅伝出走②努力に勝る天才なし
③5000m(14:36.58/14:30)
10000m(30:02.75/29:25)



柴戸 遼太

SHIBAKO Ryota
医療技術学部スポーツ医療学科
大分東明高／福岡県／168cm・53kg
①箱根駅伝出走②雨垂れ石を穿つ
③5000m(14:06.83/13:59)
10000m(28:46.60/28:29)



天海 創太

AMAGAI Sota
医療技術学部スポーツ医療学科
駒大高／東京都／176cm・57kg
①箱根駅伝メンバー入り②人にやさしく、自分にやさしく
③5000m(14:46.27/14:30)
10000m(30:37.67/29:45)



椿 杏桜

関東学連常任幹事

TSUBAKI Ako
文学部社会学科
芦花高／東京都
①言葉だけでなく行動で示す②桜梅桃李



森田 健伸

MORITA Kenshin
医療技術学部スポーツ医療学科
武蔵越生高／埼玉県／169cm・53kg
①箱根駅伝メンバー入り②今を楽しめ
③5000m(14:27.49/14:20)
10000m(30:23.32/29:30)



島田 晃希

SHIMADA Teruki
医療技術学部スポーツ医療学科
高田高／三重県／172cm・51kg
①三大駅伝出走②今を大切に
③5000m(13:56.34/13:49.99)
10000m(29:10.01/28:30)



板橋 将吾

ITABASHI Shogo
経済学部経済学科
埼玉栄高／埼玉県／168cm・59kg
①箱根駅伝出走②七転八起
③5000m(14:23.01/14:15)
10000m(30:04.97/28:59)



山口 翔平

YAMAGUCHI Shohei
医療技術学部スポーツ医療学科
西京高／山口県／182cm・62kg
①三大駅伝出走②明日は明日の風が吹く
③5000m(14:09.47/13:59)
10000m(29:23.34/28:55)



曾田 透真

マネージャー

SODA Toma
経済学部経営学科
東京高／神奈川県／168cm・54kg
①今までで1番強いチームを作る②ケセラセラ



井下 侃

マネージャー

INOSHITA Kan
医療技術学部スポーツ医療学科
宇部鴻城高／山口県／163cm・55kg
①選手を全力でサポートする②臥薪嘗胆



山下 利玖

YAMASHITA Riku
医療技術学部スポーツ医療学科
流通経済大付柏高／千葉県／176cm・65kg
①箱根駅伝出走②臥薪嘗胆
③5000m(14:37.40/14:25)
10000m(30:12.66/29:29)



田中 陽々希

TANAKA Hibiki
医療技術学部スポーツ医療学科
八戸学院光星高／青森県／172cm・57kg
①箱根駅伝出走②抛土垂来
③5000m(14:29.37/14:00)
10000m(29:53.26/29:10)



尾崎 仁哉

OZAKI Jinya
経済学部経営学科
東海大福岡高／福岡県／174cm・59kg
①三大駅伝全て出走②臥薪嘗胆
③5000m(14:18.71/14分切り)
10000m(29:10.39/28:50)



福島 渉太

FUKUSHIMA Shota
医療技術学部スポーツ医療学科
小林高／福岡県／173cm・54kg
①年間を通して結果を出す②人事尽くして天命を待つ
③5000m(13:57.04/13:50)
10000m(28:54.93/28:20)



内藤 一輝

寮長

NAITO Kazuki
医療技術学部スポーツ医療学科
洛南高／京都府／175cm・55kg
①箱根駅伝出走②常に前へ
③5000m(14:10.39/PB更新)
10000m(30:26.76/28分台)



小林 大晟

KOBAYASHI Taisei
医療技術学部スポーツ医療学科
鎮西学院高／長崎県／170cm・51kg
①箱根駅伝往路区間3位以内②栄光に近道なし
③5000m(14:20.65/13:55)
10000m(28:43.71/28:19)

4th
Grade

PLAYERS LIST
2024
EKIDEN

四年生



福田 翔

FUKUDA Sho
医療技術学部スポーツ医療学科
世羅高／広島県／166cm・51kg
①箱根駅伝出走②現状維持は後退
③5000m(14:07.96/13分台)
10000m(28:56.88/帝京記録更新(28:04.54))



西久保 雄志郎

NISHIKUBO Yujiro
医療技術学部スポーツ医療学科
鹿児島工業高／鹿児島県／168cm・60kg
①箱根駅伝出走②試験は乗り越えられる人にしか与えられない
③5000m(14:30.33/14:19)
10000m(30:26.77/29:19)



品川 慧

SHINAGAWA Kei
医療技術学部スポーツ医療学科
慶誠高／熊本県／169cm・58kg
①チーム目標に貢献する②怠惰を求めて動勉に行き着く
③5000m(14:56.53/14:25)
10000m(31:19.68/29分台)



石川 湧月

ISHIKAWA Yuzuki
経済学部経営学科
市立船橋高／千葉県／177cm・56kg
①箱根駅伝出走②猪突猛進
③5000m(14:12.49/14:10)
10000m(29:18.99/28:40)



山中 博生

主将

YAMANAKA Hiroki
文学部社会学科
草津東高／滋賀県／181cm・54kg
①箱根駅伝2区66分台②臥薪嘗胆
③5000m(14:25.26/13:50)
10000m(28:04.54/27分台)



野村 祐太郎

NOMURA Yutaro
経済学部経済学科
拓殖大学第一高／東京都／175cm・61kg
①箱根駅伝出走②情けは人の為ならず
③5000m(14:34.93/14分1桁)
10000m(29:51.87/28分台)



柴田 健佑

主務

SHIBATA Kensuke
経済学部経営学科
流通経済大付柏高／千葉県／174cm・67kg
①名脇役②本気は変化と継続を求める



岩本 拓真

IWAMOTO Takuma
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業高／兵庫県／173cm・55kg
①箱根駅伝出走②継続は力なり
③5000m(14:29.14/14:00)
10000m(29:37.03/28:45)



林 叶大

HAYASHI Kanata
医療技術学部スポーツ医療学科
小豆島中央高／香川県／176cm・57kg
①6区区間賞②難雑攻を玉にす
③5000m(14:14.47/13:55)
10000m(29:07.61/28:50)



高島 大空

副主将

TAKASHIMA Kanata
医療技術学部スポーツ医療学科
流通経済大付柏高／千葉県／174cm・61kg
①箱根駅伝出走②戦力協心
③5000m(14:20.16/13:59)
10000m(29:55.86/28:59)



黒木 浩祐

KUROGI Kosuke
医療技術学部スポーツ医療学科
小林高／熊本県／172cm・55kg
①10000m29:30②不撓不屈
③5000m(14:33.06/14:10)
10000m(31:28.51/29:30)



NISHIDA Rukia
医療技術学部スポーツ医療学科
鳴門高／徳島県／165cm・54kg
①箱根駅伝メンバー入り②蟻の思いも天に届く
③5000m(14:37.31/14:15)
10000m(-/29:40)

西田 龍希亜



SAKAI Soto
医療技術学部スポーツ医療学科
古川工業高／宮城県／169cm・56kg
①箱根駅伝メンバー入り②やればできる
③5000m(15:14.53/14:30)
10000m(-/28:30)

酒井 走和



MATSUI Hajime
医療技術学部スポーツ医療学科
大分東明高／大分県／181cm・55kg
①箱根駅伝出走、10000m28分30秒切り②なぜば
成る為さねば成らぬ何事も
③5000m(14:03.58/13:45)
10000m(29:39.33/28:20)

松井 一



SATO Seigo
医療技術学部スポーツ医療学科
盛岡大学附属高／岩手県／166cm・52kg
①箱根駅伝出走②靴の水掻き
③5000m(14:28.32/14:10)
10000m(29:58.59/29:20)

佐藤 誠悟



ISHIHAMA Soshi
医療技術学部スポーツ医療学科
名古屋経済大学高蔵高／愛知県／161cm・51kg
①箱根駅伝メンバー入り②一念岩をも通す
③5000m(14:52.69/14:25)
10000m(30:29.57/29:45)

石濱 創志



HARA Yudai
経済学部経済学科
大阪高／和歌山県／172cm・59kg
①箱根駅伝出走②不言実行
③5000m(14:00.51/13:50)
10000m(29:07.26/28:50)

原 悠太



SAEKI Tomoya
医療技術学部スポーツ医療学科
報徳学園高／兵庫県／165cm・50kg
①箱根駅伝出走②失敗と書いて、成長と読む
③5000m(14:27.70/13:59.99)
10000m(29:39.12/28:59.99)

佐伯 知哉



ONISHI Shutaro
医療技術学部スポーツ医療学科
仙台育英高／岡山県／168cm・52kg
①箱根駅伝10区区間賞②主体変更
③5000m(14:05.18/PB更新)
10000m(29:30.01/28:39)

大西 柊太郎



ASAKAWA Yuta
医療技術学部スポーツ医療学科
洛南高／京都府／166cm・50kg
①箱根駅伝7区区間上位②したいことしよう
③5000m(14:22.21/14:22.20)
10000m(30:22.66/29:00)

浅川 侑大



MORI Rikuto
医療技術学部スポーツ医療学科
慶誠高／熊本県／169cm・60kg
①安定感のある選手になる②走魂不滅
③5000m(14:58.58/14:30)
10000m(-/30:00)

森 陸飛



SHITARA Ryusei
経済学部経済学科
東海大学山形高／山形県／172cm・59kg
①自分の限界を超えること②頼誰放を玉にす
③5000m(14:20.62/14:10)
10000m(30:33.43/29:20)

設楽 琉惺



USUI Yuto
教育学部教育文化学科
那須拓陽高／栃木県／158cm・52kg
①10000mで29分30秒を切る②雨垂れ石を穿つ
③5000m(14:36.00/14:15)
10000m(-/29:30)

薄井 優斗



MAMADA Naoya
経済学部経済学科
駒大高／東京都／167cm・57kg
①箱根駅伝出走②まず決める、そしてやり通す
③5000m(14:26.89/13:50)
10000m(30:31.82/29:00)

俣田 直哉



TANIGUCHI Sota
医療技術学部スポーツ医療学科
鳥栖工業高／大分県／177cm・61kg
①10000m29分30秒②勇猛果敢
③5000m(14:10.74/13分台)
10000m(30:15.34/29:30)

谷口 颯太



KUSUOKA Yoshihiro
医療技術学部スポーツ医療学科
慶誠高／熊本県／166cm・56kg
①三大駅伝出走、チームの主力になる②前進
③5000m(13:55.84/13:50)
10000m(29:29.79/28:40)

楠岡 由浩



ASANO Tomohito
医療技術学部スポーツ医療学科
四日市工業高／三重県／162cm・48kg
①三大駅伝メンバー入り②チャンスは平等
③5000m(14:45.63/14:20)
10000m(30:07.62/29:30)

浅野 智仁



RAIDEN Haruto
経済学部経営学科
古川学園高／宮城県／176cm・56kg
①ハーフマラソン65分台②全ては自分次第
③5000m(14:52.65/14:30)
10000m(-/29:50)

来田 晴登



TAKATA Hiroto
医療技術学部スポーツ医療学科
須磨学園高／兵庫県／168cm・53kg
①自分の限界を超えること②頼誰放を玉にす
③5000m(14:29.61/14:20)
10000m(-/29:30秒切り)

高田 滉翔



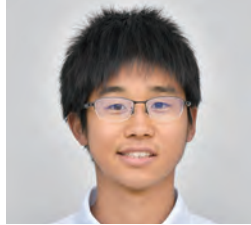
KOBAYASHI Shogo
教育学部教育文化学科
明照学園樹徳高／栃木県／165cm・52kg
①箱根駅伝出走②チャンス行きの列車に飛び込め
③5000m(14:25.46/14:15)
10000m(32:48.44/29:30)

小林 咲牙



MORI Haruki
医療技術学部スポーツ医療学科
西脇工業高／兵庫県／177cm・59kg
①箱根駅伝②努力は無限
③5000m(14:32.58/14分10秒台)
10000m(29:59.58/29分30秒切り)

森 陽輝



NISHIMORI Itsuki
医療技術学部スポーツ医療学科
東農大二高／兵庫県／167cm・53kg
①箱根駅伝出走②限界突破
③5000m(14:28.13/14:00)
10000m(31:05.97/29:00)

西森 市直



KUDO Takuto
経済学部 観光経営学科
慶誠高／熊本県／173cm・65kg
①二年生から箱根駅伝4人出走②縁の下の力持ち

工藤 琢斗
マネージャー



ITO Taiyo
経済学部観光経営学科
大社高／島根県／175cm・57kg
①全力②徳を積む

伊藤 大陽
マネージャー



WATANABE Riku
医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院高／静岡県／164cm・53kg
①大学三大駅伝出走②恩返しだけではなく恩送り
③5000m(14:29.70/14:05)
10000m(-/29:10)

渡邊 莉玖



TSUJIMOTO Oju
医療技術学部スポーツ医療学科
浜松開誠館高／静岡県／176cm・71kg
①出雲駅伝出走②有言実行
③5000m(14:20.34/14:00)
10000m(-/28:50)

辻本 桜寿



SAITO Shoma
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高／千葉県／160cm・45kg
①箱根駅伝メンバー入り②有言実行
③5000m(14:39.03/14:20)
10000m(-/29分台)

斎藤 翔真



HANAI Hyuga
医療技術学部スポーツ医療学科
國學院久我山高／東京都／169cm・63kg
①三大駅伝出走②悔悟償還
③5000m(14:41.86/14:10)
10000m(30:06.15/28:40)

花井 日友雅



KUNIASU Itto
医療技術学部スポーツ医療学科
つるぎ高／徳島県／170cm・65kg
①駅伝出走②元気があればなんでもできる
③5000m(14:29.32/14:10)
10000m(-/29:30)

國安 一翔



INOUE Kanta
教育学部教育文化学科
北海道栄高／北海道／166cm・49kg
①箱根駅伝区間5位以内②切り替え0秒
③5000m(14:26.19/14:20)
10000m(30:06.82/28:59)

井上 寛大

地域交流の一環としてランニング教室を実施 府中と多摩の小学生に、走る喜びを伝える



北諏訪小の児童に指導する藤本雄大(三年)



北諏訪小の児童と共に走る鈴木大輝(三年)



矢崎小の児童に説明する島田晃希(三年)ら部員



矢崎小の児童とランニングを楽しむ山口翔平(三年)

今年1月22日、本学駅伝競走部と内山由美子ゼミ（医療技術学部スポーツ医療学科）が、多摩市立北諏訪小の父母と教師の会（PTA）と合同で、五年生にランニング教室を行いました。この企画は、PTAと本学の「スポーツの楽しさを感じてほしい」という思いが合致して実現したものです。内山ゼミの学生が取材をもとに台本を制作し、箱根駅伝に出場した経験を持つ部員が俳優として出演する、オリジナルの動画を制作。視聴後、身体作りや5分間走を行うなど、児童との交流を通じたスポーツ振興活動を行いました。

また、2月14日には府中市立矢崎小の六年生と交流授業を行いました。この授業は、駅伝競走部が地域交流の一環として毎年行っているものです。3日後に持久走の測定を控えていたことから、児童のモチベーションは高く、校庭のランニングや部員との中距離走対決などで終始盛り上がりました。参加者の中には教員をめざす部員もあり、児童との接し方を学び、自分の考えをプレゼンする機会を得られるなど、部員にとっても貴重な経験となりました。

パラアスリートが挑むブラインドマラソン 帝京大学の選手が伴走者としてサポート

パリパラリンピックが開催される2024年は「第100回箱根駅伝」から始まり、帝京大学駅伝競走部は目標設定通りに「シード権」を獲得。箱根駅伝の注目度とレベルは年々上昇し続けており、その中で中野監督の「育成力（眼力）」は突出していると言えます。4月21日に開催された「かすみがうらマラソン」では、暑さの厳しい中、視覚障がい男子の堀越信司選手が世界ランキング1位相当の記録で、パリパラリンピック日本代表に大きく前進。そして、終盤まで堀越選手をアシストしたのは帝京大学の西久保雄志郎選手で、伴走者としてブラインドマラソン強化合宿に参加した経験もあります。もちろん、西久保選手も自己新記録を達成。ゴール地点で待っていた中野監督から両選手にねぎらいの言葉と「次はパリパラリンピックでメダルだ!」。堀越選手も中野監督から明確な目標設定を提示されました。必ず達成します！

日本ブラインドマラソン協会
常務理事 安田享平



ブラインドマラソンの選手と伴走する野村祐太郎(四年)



野村(写真手前)と賀山亮成(二年)



千葉県富津市で行われた強化合宿に野村と賀山が参加



賀山が伴走した女子選手



三年生、四年生



一年生、二年生

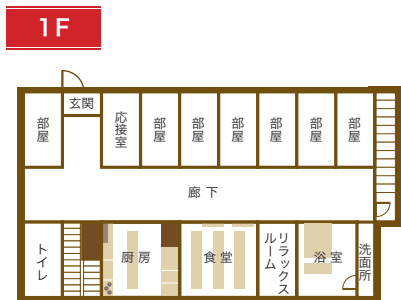
| 陸上競技場

駅伝競走部の選手が練習を行う陸上競技場は、八王子キャンパスから5分程度の場所に位置する。クラブハウスはデスク、トレーニングマシン、マッサージベッド、シャワールームなどを備える。



| 合宿所

帝京大学八王子キャンパスと陸上競技場から徒歩10分程度の場所に位置する、駅伝競走部の合宿所。選手が4年間、寝食を共にするこの合宿所は、寮長の内藤一輝を中心に選手だけで管理している。



■ 食堂



■ 厨房



■ リラックスルーム



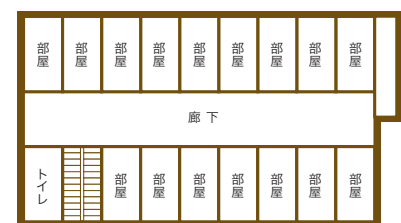
■ 洗面所



■ 浴室



2F



■ 部屋(寝室)



【1F】

厨房には大きな業務用冷蔵庫と調理器具がそろう。料理上手な選手が自炊することも。リラックスルームにはマッサージ用のベッドやバランスボールなどがある。

【2F】

選手の部屋(寝室)が並ぶ。先輩との相部屋なので、わからないことはなんでも聞いてみよう。

| サポートスタッフ紹介

帝京大学駅伝競走部



山田 剛 顧問

帝京大学医真菌研究センター 准教授

現場スタッフの庶務サポートを中心に、学内での調整や書類作成、広報などの事務的な部分を担っています。グラウンドにも顔を出し、選手やスタッフとコミュニケーションをとりながら円滑な部の運営に貢献したいです。



村上 泰弘 コーチ

帝京大学八王子キャンパス学生支援課キャリアサポートセンター

学生支援課キャリアサポートセンターに所属しており、学生のキャリア・就職支援を担当しています。駅伝競走部の活動が安全、安心に取り組めるようサポートしていきます。



杉本 昇三 コーチ

帝京大学八王子キャンパス学生支援課学生支援室

選手たちのキャンパスライフのサポートを行いながら、有望な選手獲得のために全国各地を回って選手勧誘活動を行い、部の強化を図っています。ここ数年内には、チーム最高順位を上回る結果を残せるように、チーム一丸となって取り組んでいきます。



野尻 康太郎 コーチ

練習面では大きな1歩よりも小さな1歩を大切に、積み上げていくことのできる選手になれるよう、選手との会話を大切にしています。生活面では、すべての行動が結果につながることを伝えながら、目標達成をサポートしていきます。



大西 朋 サイエンスチーム

帝京大学スポーツ医科学センター 講師

酸素摂取量などの有酸素能力測定を実施し、選手やスタッフにフィードバックをしています。選手が現時点での力を把握し、目標に向けてトレーニングを考えられるヒントとなるよう、伝えることを大切にしています。



葛西 真弓 管理栄養士

帝京大学スポーツ医科学センター 講師

食事は身近なものであるために、いちばん疎かにされがちですが、選手のコンディションやパフォーマンスの根底を支える非常に重要なものです。栄養面から選手の可能性を広げられるよう、栄養レクチャーや日々のコミュニケーションを通してサポートしています。



廣重 陽介 アスレティックトレーナー

帝京大学スポーツ医科学センター 講師

けがの予防やけが人に対し、安全に競技に戻るリハビリ、競技力を高めるトレーニング指導などを担当しています。痛みや不調を改善するだけでなく、その原因を理解し、けがの予防や競技力向上へ応用し、取り組める選手をめざしてほしいです。



齊藤 亮太 ストレングスコーチ

動き作りを担当しています。さまざまな動き作りやトレーニングを通して、選手自身が主体的に課題解決に向かえるよう指導を行っていきます。また、スタッフ間の横断的な連携で、さまざまな角度から選手をサポートしていきます。

2023年後半～2024年前半の主な大会記録

2023年10月14日(土) 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		10:35:08	チーム内上位10名の合計タイム	第3位	本選出場権獲得
福田 翔	3	1:02:26	ハーフマラソン(21.195km)	21位	
末次 海斗	4	1:02:59	ハーフマラソン(21.195km)	38位	PB
山中 博生	3	1:03:02	ハーフマラソン(21.195km)	39位	PB
柴戸 遼太	2	1:03:10	ハーフマラソン(21.195km)	50位	PB
西脇 翔太	4	1:03:28	ハーフマラソン(21.195km)	59位	
小林 大晟	3	1:03:47	ハーフマラソン(21.195km)	84位	
島田 晃希	2	1:03:51	ハーフマラソン(21.195km)	92位	
岩本 拓真	3	1:03:58	ハーフマラソン(21.195km)	104位	
日高 拓夢	4	1:03:59	ハーフマラソン(21.195km)	107位	PB
野村 祐太郎	3	1:04:28	ハーフマラソン(21.195km)	160位	
高島 大空	3	1:05:16	ハーフマラソン(21.195km)	242位	PB
大西 柊太郎	1	1:06:19	ハーフマラソン(21.195km)	334位	

2023年11月5日(日) 秩父宮賜杯第55回全日本大学駅伝対校選手権大会

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		5:24:07	総合(106.8km)	第12位	
福田 翔	3	27:30	1区9.5km	区間9位	
山中 博生	3	31:32	2区11.1km	区間6位	帝京記録
柴戸 遼太	2	34:16	3区11.9km	区間6位	
西脇 翔太	4	37:14	4区11.8km	区間22位	
末次 海斗	4	37:01	5区12.4km	区間7位	
島田 晃希	2	38:29	6区12.8km	区間8位	
日高 拓夢	4	55:41	7区17.6km	区間16位	
小林 大晟	3	1:02:24	8区19.7km	区間14位	

2023年11月19日(日) 第36回2023上尾シティハーフマラソン

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
大吉 優亮	4	1:03:12	ハーフマラソン男子	28位	PB
針谷 咲輝	4	1:03:14	ハーフマラソン男子	30位	PB
高島 大空	3	1:03:29	ハーフマラソン男子	38位	PB
石川 湧月	3	1:04:00	ハーフマラソン男子	58位	PB
尾崎 仁哉	2	1:04:07	ハーフマラソン男子	62位	
大辻 碩悟	4	1:04:33	ハーフマラソン男子	78位	PB
大谷 祥輝	2	1:05:00	ハーフマラソン男子	109位	PB
川上 壘真	2	1:05:20	ハーフマラソン男子	121位	PB
板橋 将吾	2	1:05:29	ハーフマラソン男子	130位	PB
山下 航平	4	1:05:33	ハーフマラソン男子	134位	PB
原 悠太	1	1:05:55	ハーフマラソン男子	160位	PB
山口 翔平	2	1:05:57	ハーフマラソン男子	162位	PB
森 陽輝	1	1:06:06	ハーフマラソン男子	165位	PB
内藤 一輝	3	1:06:29	ハーフマラソン男子	177位	
鎗田 大輝	2	1:06:36	ハーフマラソン男子	182位	
野村 祐太郎	3	1:06:44	ハーフマラソン男子	186位	
大類 駿	4	1:07:00	ハーフマラソン男子	195位	
山下 利玖	2	1:07:06	ハーフマラソン男子	200位	PB
井上 寛大	1	1:07:21	ハーフマラソン男子	210位	PB
賀山 亮成	1	1:07:29	ハーフマラソン男子	216位	PB
東 陽晃	4	1:08:30	ハーフマラソン男子	257位	
品川 慧	3	1:09:00	ハーフマラソン男子	270位	PB
浅川 侑大	1	1:09:15	ハーフマラソン男子	282位	PB
藤本 雄大	2	1:10:22	ハーフマラソン男子	304位	
佐伯 知哉	1	1:10:55	ハーフマラソン男子	308位	PB
俣田 直哉	1	1:16:31	ハーフマラソン男子	340位	PB

2023年11月19日(日) 10000m記録挑戦競技会(国立競技場)

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
天海 創太	2	32:08.50	10000m	4組20位	
細谷 建斗	2	31:14.40	10000m	5組22位	
花井 日友雅	1	31:42.84	10000m	5組25位	
谷口 颯太	1	31:27.21	10000m	6組19位	
小林 大晟	3	29:07.48	10000m	7組1位	
島田 晃希	2	29:20.89	10000m	7組4位	PB
末次 海斗	4	29:21.40	10000m	7組5位	
日高 拓夢	4	29:24.88	10000m	7組6位	
大西 柊太郎	1	29:33.16	10000m	7組7位	
廣田 陸	1	29:34.51	10000m	7組9位	PB
岩本 拓真	3	29:37.03	10000m	7組10位	PB
林 叶大	3	30:03.94	10000m	7組14位	
山中 博生	3	28:35.65	10000m	9組1位	PB
遼太 遼太	2	28:46.60	10000m	9組4位	PB
福田 翔	3	29:38.08	10000m	9組17位	
小野 隆一郎	4	29:21.24	10000m	10組4位	

2024年1月2日(火)～3日(水) 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		10:59:22	総合(217.1km)	第9位	シード権獲得
		5:30:23	往路(107.5km)	第12位	
		5:28:59	復路(109.6km)	第6位	
西脇 翔太	4	1:01:36	1区21.3km	区間1位	
山中 博生	3	1:08:10	2区23.1km	区間16位	
柴戸 遼太	2	1:02:57	3区21.4km	区間9位	
末次 海斗	4	1:02:35	4区20.9km	区間9位	
尾崎 仁哉	2	1:15:05	5区20.8km	区間20位	
大吉 優亮	4	1:00:34	6区20.8km	区間15位	
小野 隆一郎	4	1:02:44	7区21.3km	区間2位	帝京新
島田 晃希	2	1:05:13	8区21.4km	区間8位	
小林 大晟	3	1:09:30	9区23.1km	区間3位	
日高 拓夢	4	1:10:58	10区23.0km	区間18位	

2024年2月4日(日) 第76回香川丸亀国際ハーフマラソン

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
大西 柊太郎	1	1:03:59	ハーフマラソン	PB	PB

2024年2月18日(日) 第56回青梅マラソン

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
尾崎 仁哉	2	1:37:22	30km	第4位	入賞
廣田 陸	1	1:37:22	30km	第5位	入賞
島田 晃希	2	1:37:22	30km	第6位	入賞
福田 翔	3	1:37:23	30km	第8位	
山中 博生	3	1:37:23	30km	第9位	
高島 大空	3	1:37:23	30km	第10位	
岩本 拓真	3	1:39:07	30km	第17位	
小野 隆一郎	4	1:42:53	30km	第29位	

2024年2月25日(日) 第107回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
柴戸 遼太	2	29:55	シニア男子10km	14位	

2024年3月10日(日) 第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
島田 晃希	2	1:03:00	ハーフマラソン 学生	12位	PB
山中 博生	3	1:03:02	ハーフマラソン 学生	13位	PBタイ
廣田 陸	1	1:03:17	ハーフマラソン 学生	23位	PB
福島 渉太	3	1:03:25	ハーフマラソン 学生	32位	PB
小林 大晟	3	1:03:38	ハーフマラソン 学生	50位	PBタイ
尾崎 仁哉	2	1:03:42	ハーフマラソン 学生	53位	
楠岡 由浩	1	1:03:50	ハーフマラソン 学生	60位	PB
岩本 拓真	3	1:03:56	ハーフマラソン 学生	66位	
浅川 侑大	1	1:03:57	ハーフマラソン 学生	67位	PB
高島 大空	3	1:04:12	ハーフマラソン 学生	76位	
石川 湧月	3	1:04:33	ハーフマラソン 学生	104位	
林 叶大	3	1:04:49	ハーフマラソン 学生	128位	PB
野村 祐太郎	3	1:05:00	ハーフマラソン 学生	146位	
大西 柊太郎	1	1:05:09	ハーフマラソン 学生	156位	
原 悠太	1	1:05:30	ハーフマラソン 学生	185位	PB
山口 翔平	2	1:05:36	ハーフマラソン 学生	194位	PB
鎗田 大輝	2	1:05:43	ハーフマラソン 学生	209位	PB
花井 日友雅	1	1:05:45	ハーフマラソン 学生	214位	PB
内藤 一輝	3	1:05:57	ハーフマラソン 学生	237位	
黒木 浩祐	3	1:07:10	ハーフマラソン 学生	352位	
井上 寛大	1	1:07:33	ハーフマラソン 学生	393位	
田中 陽々希	2	1:07:56	ハーフマラソン 学生	433位	
若林 凌汰	2	1:08:12	ハーフマラソン 学生	451位	
谷口 颯太	1	1:08:23	ハーフマラソン 学生	462位	
高橋 賢太	1	1:09:31	ハーフマラソン 学生	552位	PB
天海 創太	2	1:09:36	ハーフマラソン 学生	562位	

2024年5月9日(木)～12日(日) 第103回関東学生陸上競技対校選手権大会

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
花井 日友雅	2	3:55.14	1500m予選	1組12位	
辻本 桜寿	1	3:54.42	1500m予選	2組9位	
原 悠太	2	29:24.73	10000mタイムレース決勝	1組1位/総合24位	
山中 博生	4	28:04.54	10000mタイムレース決勝	2組4位/総合4位	PB/入賞/帝京大記録更新
小林 大晟	4	29:26.94	10000mタイムレース決勝	2組24位/総合25位	

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
島田 晃希	3	14:01.64	5000m予選	1組14位	決勝進出
楠岡 由浩	2	14:22.66	5000m予選	1組20位	
福島 渉太	4	14:21.10	5000m予選	2組17位	

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
森 陸飛	1	1:57.67	800m予選	3組7位	
林 叶大	4	9:06.28	3000mSC予選	1組5位	
西田 龍希亜	1	9:09.52	3000mSC予選	2組6位	
辻本 桜寿	1	9:03.00	3000mSC予選	3組3位	決勝進出

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
廣田 陸	2	1:05:37	ハーフマラソン決勝	第19位	
高島 大空	4	1:07:03	ハーフマラソン決勝	第34位	
尾崎 仁哉	3	1:07:45	ハーフマラソン決勝	第38位	
辻本 桜寿	1	8:57.14	3000mSC決勝	第6位	入賞
島田 晃希	3	14:09.54	5000m決勝	第17位	

2024年6月23日(日) 秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会
関東学生陸上競技連盟推薦校選考会

名前	学年	タイム	種目	順位	備考
帝京大学		3:56:45.83		第6位	本選出場権獲得
福田 翔	4	29:36.38	10000m	1組11位	
柴戸 遼太	3	29:54.14	10000m	1組23位	
楠岡 由浩	2	30:06.83	10000m	2組13位	
尾崎 仁哉	3	30:19.05	10000m	2組22位	
山中 博生	4	29:08.74	10000m	3組4位	
原 悠太	2	29:24.26	10000m	3組15位	
福島 渉太	4	29:05.15	10000m	4組18位	
島田 晃希	3	29:11.28	10000m	4組21位	

帝京大学 歴代50傑

5000m 歴代50傑

■は現役部員

順位	名前	タイム	大会名	場所	日付
1	柳原 貴大	13:50.45	第239回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2014/9/28
2	小野寺 悠	13:50.65	多摩川5大学対校長距離競技会	裾野市運動公園陸上競技場	2020/10/4
3	熊崎 健人	13:52.44	第236回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2014/4/13
4	橋本 尚斗	13:52.58	第290回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2021/9/19
5	森田 瑛介	13:53.28	第5回順天堂大学競技会	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2021/7/3
6	島貫 温太	13:53.32	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
7	北島 吉章	13:53.57	延岡記録会	西脇陸上競技場	2000/5/3
8	戸村 将幸	13:54.70	第152回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2003/9/23
9	西村 知修	13:55.00	第193回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2008/4/19
10	安藤 慎治	13:55.47	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
11	細谷 翔馬	13:55.77	第5回順天堂大学競技会	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2021/7/3
12	遠藤 大地	13:55.97	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
13	中崎 幸伸	13:56.04	春季延岡記録会	西脇陸上競技場	2000/4/29
14	島田 晃希	13:56.34	第312回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2024/4/13
15	中村 風馬	13:56.43	第5回順天堂大学競技会	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2021/7/3
16	西脇 翔太	13:56.71	第290回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2021/9/19
17	福島 渉太	13:57.04	第312回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2024/4/13
18	谷川 嘉朗	13:57.34	春季延岡記録会	西脇陸上競技場	2000/4/29
19	中村 亮太	13:57.36	第207回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2010/5/2
20	小森 稜太	13:57.87	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
21	田村 丈哉	13:58.25	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
22	清水 健司	13:59.28	第185回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2007/4/15
23	楠岡 由浩	13:59.47	第314回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2024/6/2
24	横井 裕仁	14:00.18	第3回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2018/9/29
25	岩佐 孝誠	14:00.42	第1回世田谷陸上競技会	世田谷総合運動場陸上競技場	2019/4/6
26	原 悠太	14:00.51	第314回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2024/6/2
27	谷村 龍生	14:01.89	第273回日本体育大学長距離競技会	日本体育大学横浜健志台キャンパス陸上競技場	2019/10/6
28	寺嶋 溪一	14:01.98	第5回順天堂大学競技会	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2021/7/3
29	久保 芳土	14:02.26	第119回東海大学長距離記録会	東海大学湘南校舎陸上競技場	2009/4/18
30	大花 将太	14:02.80	第3回順天堂大学競技会	順天堂大学さくらキャンパス陸上競技場	2022/6/4</

Sports Evolution

ースポーツは、ここから進化する。ー

進化の主役はスポーツを「する」人のみならず、「みる」人、「ささえる」人といった、本学のスポーツを愛するすべての人々です。

大学スポーツの進化をめざす 帝京大学スポーツ局

帝京大学スポーツ局局长

岩出 雅之

帝京大学は、輝かしい実績を誇る強化クラブをはじめとし、一般クラブ、スポーツ医科学センター、スポーツ医療学科などスポーツに関する学術研究・教育、および医科学的サポート体制や施設設備など、豊富な人的、物的、知的スポーツ資源を有しています。

一方、近年、社会の変化の中で、大学スポーツにおいても、ガバナンス構築、学業との両立や将来を見据えたデュアルキャリア支援、安全・安心なスポーツ環境づくり、スポーツインテグリティ（高潔性）、さらには大学スポーツを通じた社会貢献の必要性が高まっています。

このような背景の下、2022年4月、帝京大学スポーツ局が設置されました。これまで、本学運動部の課題や要望を踏まえた改善や活動評価の実施などに取り組んでいるところです。スポーツ局は、次のミッションを掲げています。



スポーツ振興

スポーツへの参画を促進し、する・みる・ささえる人たちの活動支援を通して、楽しさやお互いの結びつきを高め、心身の充実を図るとともに、社会の発展に寄与する人材の育成に努める。

1. 学内スポーツの充実

（１）スポーツに触れる機会を創出する

気軽に参加できるスポーツイベントや体験スペース等を通して、多くの学生にスポーツへ導く機会をつくる。

（２）各クラブ活動の充実

①安全・安心な環境とガバナンスを構築し、健全で充実したスポーツ活動を推進する。

②人材育成と指導者の教育的・専門的技術向上を図る研修を行う。

2. 学術研究

スポーツ医科学やスポーツに関する研究を推進し、成果を学内外に提供するとともに、スポーツ教育の充実を図る。

3. 学外連携・社会貢献

自治体等との連携に努め、地域のスポーツ振興に寄与するとともに、スポーツを通じた地域貢献に努める。

強化クラブ室

スポーツ局の中にある強化クラブ室は、統一的な強化方針の下、7競技、8クラブを指定強化クラブとして選定しサポートを行っています。各種支援を通して、学業とクラブ活動に集中できる環境を整備し、学生生活の充実に向け取り組んでいます。主なサポートとして、以下のものがあります。

1. 競技生活のサポート

（１）医療サポート

スポーツ医科学クリニック（八王子キャンパス）において、傷害および疾病に対する迅速な治療対応の実施（帝京大学医学部附属病院との医療連携体制）。

（２）スポーツ医科学センターのサポート

スポーツ医科学センターのスタッフによるトレーニング指導や傷害予防および受傷後の復帰に向けたリハビリテーション、栄養指導等。

2. 学生生活のサポート

学生支援課学生支援室における各種相談や、教務課が行う学修支援、学生支援課キャリアサポートセンターが実施する就職ガイダンス等。

T



帝京スポーツサポーターの会

2022年度より発足した帝京スポーツサポーターの会は、本学のスポーツを「みる」「ささえる」ことに関心を有し趣旨に賛同する本学の教職員、学生、卒業生等が会員となり、スポーツ局と連携し本学スポーツに係る諸活動を支援し、スポーツ振興を図ることを目的にしています。

同会には活動内容に応じ、①パブリシティ、②イベント、③メディカル・ハイパフォーマンス、④マーケティングの4つのチームが置かれており、それぞれ会員募集活動や情報発信、強化運動部の応援イベントや学生トレーナー勉強会等の事業に取り組んでいます。この会が、スポーツを通して、多くの帝京大生が「つながる」一助となり、本学スポーツの振興につながるよう活動を進めています。一緒に帝京大学のスポーツを盛り上げてくれる学生や教職員、ファンの方を募集します。



アスリート栄養サポート

帝京大学スポーツ医科学センター

駅伝競走部の選手たちは、朝食、夕食を帝京大学スポーツ医科学センター内にある食堂でとります（昼食は希望制）。管理栄養士が考える毎日のメニューは、栄養バランスが整っているだけでなく、おいしくてバリエーションが豊富と好評です。ハードな練習後や暑い季節でも、自然と食が進みます。

主務・柴田が撮影！

帝京大学スポーツ医科学センター 1週間の夕食レポート！

Mon.



発芽入り玄米ご飯 / 油淋鶏 / クラゲとわかめのナムル / サラダバー / 中華スープ（にら、もやし） / フルーツ / ジョア（マスカット）

Tue.



冷やし豆乳担々麺 / 中華風五目ご飯 / にらまんじゅうとえび餃子 / もやしと小松菜ときゅうりのナムル / サラダバー / フルーツ / デンシアヨーグルト

Wed.



枝豆とチーズご飯 / 鮭のポテトチーズ焼ラクトゥイソース / ツナとマカロニサラダガーリック風味 / サラダバー / コンソメスープ（大根、ベーコン） / フルーツ / ジョア（ブルーベリー）

Thu.



強化米ご飯 / おろしハンバーグ / いんげんと茄子の揚げびたし / サラダバー / 豚汁 / フルーツ / ジョア（ブルーベリー）

管理栄養士
葛西真弓先生監修！



科学的知見に沿った食事メニュー
リラックスできる空間づくりにも配慮

帝京大学スポーツ医科学センターで提供している食事のエネルギー・栄養素摂取目標量は、科学的な知見に沿って算出しています。特に、貧血や疲労骨折に関連する栄養素の摂取に力を入れています。また、食事は選手がリラックスできる大切な時間なので、快適な空間づくりにも配慮しています。

Fri.



強化米ご飯 / 豚ロースの生姜焼き / 小松菜と厚揚げの煮物 / サラダバー / 味噌汁（えのき、ごぼう、じゃが芋、ほうれん草） / フルーツ / ジョア（ブルーベリー）

Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、「メディカル」「サイエンス」「アスレティックトレーナー」「ストレングス&コンディショニング」「栄養」「コーチ」の各分野の専門スタッフがチームを結成し、分野を超えた連携をしながら各クラブをサポートしています。“うちかつ強さを”をスローガンに掲げ、学生アスリートの希望を叶えられるように多角的なサポートをしています。

Total Support System

各クラブを6方面から支えるトータルサポートシステム

コーチ

専門的な知識を活用し、アスリートサポートを実現する

コーチ

メディカル

管理栄養士

管理栄養士

体づくりの目標に応じてけがや病気をしない栄養管理を行う

サイエンス

サイエンス

バイオメカニクスや運動生理学に沿って測定・研究を行う

ストレングス&
コンディショニング
コーチ

アスレティック
トレーナー

ストレングス&コンディショニングコーチ
アスレティックトレーナー

競技復帰やパフォーマンス向上に向けた取り組みを
競技現場でアスリートとともに実践していく

メディカル

スポーツ損傷やアスリートに関する
疾患の治療・研究を進める



帝京大学医学部附属病院
（東京都板橋区）



帝京大学スポーツ
医科学センター
ホームページ

国内屈指のスポーツ医療でアスリートを守る

帝京大学スポーツ医科学センターは、国内有数の充実した医療設備を備え、スポーツ損傷の予防と治療に取り組んでいます。スポーツ医療を推進する「メディカルチーム」の強みのひとつは、エコー（超音波）による診療です。スポーツ医科学センターの1階にあるスポーツ医科学クリニックでは、選手は診察室に入ってから、わずか数分で適切な診断を受けられます。また、けがを早期発見して悪化を防ぐことや、けが予防のためにトレーニングを見直すことも可能です。さらには、学内外の医療機関と連携しているため、状況に応じて各分野の権威とされる医師を紹介することもできます。ありとあらゆる手段で選手を守ることが私たちの役目です。



帝京大学
スポーツ医科学クリニック
笹原 潤 院長

撮影＝川本聖哉 取材・文＝外山武史

キャリアサポートセンター

帝京大学では、学生のキャリア支援体制にも力を入れています。自らの資質に目を向け、実践的な就業体験をすることで、将来へのビジョンを明確にできるよう、さまざまな形で支援を行っています。

就活支援イベント>主な支援行事(一例) ※■は対象年次のみ、□は全学年参加可能

一年次

- アセスメントテスト
- 1年生のためのシュウカツ準備講座
- 外国人留学生のための就職ガイダンス
- 障がいのある学生および配慮が必要な学生のためのキャリアガイダンス

二年次

- 2年生のためのシュウカツ準備講座
- 外国人留学生のための就職ガイダンス
- 障がいのある学生および配慮が必要な学生のためのキャリアガイダンス

三年次

- 就職ガイダンス
- 進路面談
- 外国人留学生のための就職ガイダンス
- 障がいのある学生および配慮が必要な学生のためのキャリアガイダンス

四年次

- 企業・公務員OBOG座談会
- 公務員・独立行政法人等しごとセミナー
- UIJターン自治体訪問会
- 学内合同企業説明会

三年次

- 学内合同企業説明会
- 個別企業説明会および一次選考会
- 公務員二次面接対策

八王子キャンパスの
キャリア支援
詳しくはこちら▶



体育会学生向け就職支援

多様な進路選択ができるよう、各クラブの指導者と連携し、忙しい体育局学生に合わせたイベント等の案内や個別面談を実施しています。これにより、体育局学生を積極的に採用したい企業の紹介や公務員対策を早期に行うことで、部活動と就職活動の両立が可能となります。

学内合同企業説明会

八王子キャンパスでは、キャリア教育支援の一環として3～4年次の学生を対象に、優良企業を集めた合同企業説明会を開催します。多くの企業・団体が参加するため、学生は自分に合う企業を見つけることができます。



公務員課外講座

公務員採用試験に向けて、しっかり試験対策をしていくために、プロの講師から勉強のサポートや試験突破のコツなどを効率よく学修できるよう支援を展開しています。毎年、公安系（警察・消防など）のほか行政職（県庁・特別区など）にも多く就職しています。

個別サポート

さまざまな業界出身のキャリアアドバイザーが常駐し、学生の進路相談にのっています。書類添削、模擬面接、個別相談など指名制で受けることができ、学生一人ひとりに寄り添い支援をしています。



提携企業

フランスベッド株式会社

寝具および福祉用具を取り扱うフランスベッド株式会社とスポンサー契約を締結し、フランスベッド社のロゴ入りユニフォームを着用しています。また、アスリートが快適な睡眠を得るために、寝具及びマッサージ器、睡眠解析センサーを提供いただいております。

フランスベッド

日本シグマックス株式会社

スポーツ向けサポート・ケア製品ブランド「ZAMST（ザムスト）」を展開する、日本シグマックス株式会社とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、製品の提供を受けています。けがの予防、故障のリスクを軽減するため、インソールやコンプレッション等を活用しています。



サイエンスサポート

帝京大学スポーツ医科学センター

駅伝競走部の選手たちは、帝京大学スポーツ医科学センターが提供する科学的根拠に基づいたサポートを受けることができます。フローチャート形式で、選手の有酸素能力測定の様子を紹介します。



Step1 測定前のコンディション確認

駅伝競走部の選手個々の有酸素能力測定は、帝京大学スポーツ医科学センター内にある環境制御室で行います。測定する項目は、最大酸素摂取量、乳酸値、心拍数など。測定は選手のコンディションが整った状態で行うことが前提になるので、測定前には必ず当日の体調などの確認を行います。



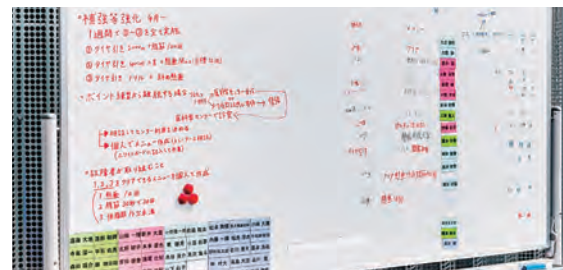
Step2 測定器具の着用

選手のコンディションに問題がないことが確認できたら、測定器具を着用して準備を進めます。選手は汗が流れ落ちるのを防ぐため、競泳用の帽子を着用。非常時にすぐに測定を中止できるよう、同室で使用しているトレッドミルには安全装置が付いています。



Step3 測定スタート

選手はトレッドミルを3分間走った後、1分間立位で静止した状態で乳酸値を測定。これを繰り返し行います。トレッドミルの速度は毎分250m（1km換算4分ペース）からスタートし、3ステージで毎分290m（同3分27秒ペース）、5ステージで毎分330m（同3分02秒ペース）と、1ステージ20m/分ずつ負荷を上げていきます。



Step4 結果をフィードバック

測定した選手のデータは分析、検証を行った上で、選手、監督、コーチにフィードバックを行います。レースにおけるペース設定や日々の練習の強度に反映させています。

What's 環境制御室?



環境制御室では、①通常気圧で酸素濃度の調節を行い低酸素の環境をつくること、②温度と湿度をコントロールすることで、高地環境（0～4500m）や暑熱環境でのトレーニングが可能です。常圧環境で酸素濃度のみを低下させるため、安全にトレーニングや測定を行うことができます。

低酸素トレーニングは酸素運搬能力や筋の酸素消費能力の改善をもたらすこ

とが主目的ですが、高地トレーニングの前に実施することで、高地環境に順応する準備をすることもできます。さらに、低酸素環境は傷害からの復帰段階にあるアスリートに対し、運動強度を無理に上げることなく、呼吸循環機能に負荷をかけることができます。

気温は0℃～45℃、湿度は30%～80%の範囲で環境をコントロールできるため、遠征前の暑熱対策も可能です。

帝京大学 駅伝競走部 イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

本学における指定強化部の活躍が近年頼もしくも目立っておりますが、このような流れを形作るにあたっては近道はなく、日々の積み重ねの結果として表れてくるものであります。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績につながっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になってはいけなくと考えております。大学におけるスポーツはプロスポーツと異なり、あくまでも教育機関が行っている活動であり、必要な知識や技術を客観的に見つけ吸収し、現在そして将来において、競技力向上の下地をつくるということもさることながら、人としての構えを身に付け、多様な人とかわりながら仕事を進めて行ける知恵や社会性を醸成することに重点を置いています。

各練習施設やトレーニング施設の拡充はもちろん、競技力向上のために必要なトレーニング方法や食の管理、けがの際の適切な治療などを施す、大学付設のスポーツ医科学センターや接骨院のバックアップ体制などのほか、普段の授業すべてが学生の育成を目的として存在しています。

よって、指定強化部で活動している学生諸君につきましては、これら本学における支援体制を存分に活用し、教職員をはじめとしたさまざまな人々とかかわり、経験を積んで社会の中で活躍できる人材へと成長していただけることを心から期待しております。

SORA RATIO 宙×理性＝可能性

SORATIOとは…

果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙＝SORA」とラテン語で「理性」を意味する

「RATIO」を組み合わせた造語。

帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、

「SORATIO SQUARE（ソラディオ スクエア）」と名づけました。

キミの広がる無限の可能性

充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスは、授業や学校生活の拠点となる、地上22階、地下2階の校舎SORATIO SQUAREを中心としたキャンパスです。

多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。

帝京大学駅伝競走部 イヤーブック 2024

2024 年 7 月発行
表紙：山中博生（駅伝競走部主将）
取材・文：和田悟志
撮影：熊谷仁男、志賀由佳、和田八束
デザイン：岡田大吉（threelight）
編集：柴山高宏（threelight）

 **帝京大学**
TEIKYO
<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

本誌掲載記事、写真等の無断複製・転載を禁じます。
© TEIKYO UNIVERSITY 2024



帝京大学 駅伝競走部 公式ホームページ

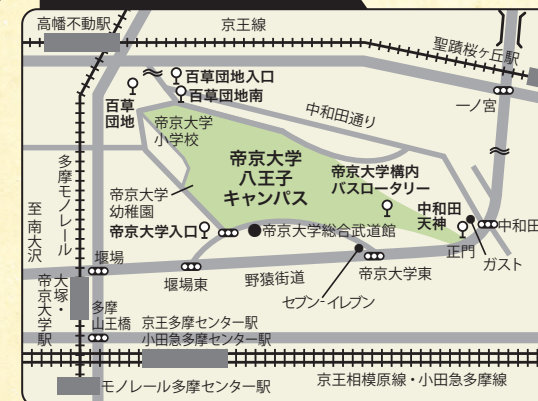
最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/ekiden/>

帝京大学 駅伝競走部



帝京大学 八王子キャンパス MAP



全国に広がる 5つのキャンパス

八王子キャンパス

板橋キャンパス

宇都宮キャンパス

福岡キャンパス

霞ヶ関キャンパス

「八王子キャンパス」で学べる学部学科

経済学部

経済学科

国際経済学科

経営学科

観光経営学科

法学部

法律学科

政治学科

文学部

日本文化学科

史学科

社会学科

心理学科

外国語学部

外国語学科

国際日本学科

教育学部

教育文化学科

初等教育学科

医療技術学部

スポーツ医療学科

※健康スポーツコース／

トップアスリートコースのみ

帝京大学ガイドブック

